

東部地区社協だより

発行 佐倉東部地区社会福祉協議会
会長 小玉 克哉
事務局 月・木 10時～15時
TEL:043-484-6033 FAX:043-486-2518
toubusakura@yahoo.co.jp

第1回福祉委員会

5月25日(日)中央公民館で第1回福祉委員会が開催されました。
委嘱状の交付の後、平成25年度事業報告、決算、監査報告、及び、平成26年度事業計画、予算(案)が承認されました。
お忙しい中、ご出席くださいました福祉委員の皆様、ありがとうございました。
今年度も皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

研修会 「社会福祉協議会について」

第1回福祉委員会終了後、新しい福祉委員のみなさんへの研修を兼ねて研修会を開催しました。講師には佐倉市社会福祉協議会事務局長の兼坂誠氏をお迎えし、福祉委員の役割についてお話を伺いました。

はじめに佐倉市社協作成のビデオで活動内容を紹介した後、社協の役割や地区社協・福祉委員の活動について学びました。

社協は地域福祉の推進を目的とする非営利の民間団体であり、自治会・町内会、民生児童委員、ボランティア、福祉団体・施設、保健福祉関係者等が会員となり、市民の参加と意思に基づいて活動する組織です。住民福祉向上のために、市民とともに地域福祉を推進することが社協の中心活動です。地区社協は、地域の特性を生かし、住民が主体となって知恵と力を出し合っ地域福祉を推進する組織であり、福祉委員はその中心となり活動することが期待されています。

短い時間でしたが、兼坂氏の優しい語り口で、地域福祉や福祉委員活動について考える良い機会となりました。(研修事業部)



◀兼坂誠氏



26年度事業推進スケジュール

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体							○		○			
	募金活動 ふれあい祭り											
地域福祉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	夜間パトロール 住民福祉懇談会											
高齢者福祉				○					○			○
	昼食会 茶話やかサロン											
		将門					大蛇			本町		弥勒
児童障がい児者等福祉	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	子育てサロン 障がい児者等講座・交流 コンサート											
広報					○			○			○	
	広報誌発行											
研修		○						○			○	
	福祉委員研修 福祉理解研修											
敬老会						○						

平成26年度敬老会日程

- 9月6日(土) 佐倉小学校:10時～12時
- 9月13日(土) 佐倉東小学校:10時～12時
- 9月20日(土) 白銀小学校:10時～12時



子育てサロン「ひろば」(栄町集会所)

7月2日(水)10時から13時まで、栄町集会所で、毎年恒例のたなばた会を楽しみました。今回は4組の親子が参加しました。スタッフや大学生ボランティアと一緒に、おしゃべりしながらたなばた飾りを作ったり飾ったりしました。

帰りには飾った竹の一枝をみんなで持ち帰り、おうちでもたなばたを楽しんでもらいました。(児童障がい者福祉事業部)

次回の予定は

- 9月3日(水)10:00～13:00 水遊びをしよう
- 10月1日(水)10:00～13:00 保健師さん・栄養士さんのおはなし



高齢者福祉特集

楽しく笑って、動いて、今日から認知症予防

7月12日(土)午前10時から12時まで、中央公民館にて東部地区社会福祉協議会主催による「認知症サポーター養成講座」が開催され、50名の参加がありました。

本講座は二部構成で、まず、第一部として、志津南地区社会福祉協議会の劇団「南座」が、上志津中学校演劇部との共演により、“家族がいかに認知症と向き合うか”をテーマに寸劇を披露。演目は「お家はどこですか?」、「おじゃましました、お家にかえります」の2本。寸劇に続き、同協議会の古島弘会長より認知症の一般知識、認知症に対する対応の仕方などの講演が行われ、参加者の理解を深めました。

休憩を挟み、第二部として、佐倉地域包括支援センターによる脳の健康維持教室が行われました。「楽しく笑って、動いて、今日から認知症予防」と題して、松尾徳子氏の説明の後、数名の介護リーダーと一緒に体操や脳のトレーニングを体験しました。

講座は終始和やかな雰囲気の中進められ、事後アンケートでも、分かりやすく、楽しく、とても参考になったとの声が多く聞かれました。

(研修事業部)



ひとり暮らし高齢者七夕昼食会

7月10日ミレニアムセンターで26年度第1回目のひとり暮らし高齢者昼食会が開催されました。

当日は、台風8号が接近中で時折強い雨が降る中、52名の方が参加されました。

小玉会長の挨拶の後、伊藤満千子福祉委員のエレクトーン演奏で七夕さまや、海のうた等を大きな声を出して歌いました。

続いて、包括支援センターの菊川様より食中毒の予防についてお話ししていただきました。ポイントは食材を買って来たら出来るだけ早く冷蔵庫に入れること、調理道具は常に乾燥と清潔を保つこと等でした。

食事は冷やし中華に特製しゅうまい、和菓子と果物等で殆どの方が完食されました。

食事の後は、短冊に願い事を書いて貰い、竹に飾り付けました。大多数の方が健康や平穏を願われました。

次回は12月12日(金)です。

(高齢者福祉事業部)



ボランティア紹介

食事サービス「ふきのとう」

7月4日、「ふきのとう」の活動の取材に、佐倉中央公民館調理室を訪問いたしました。午前9時から調理を開始、あっという間に調理室は「所狭し」の状況。テキパキとてんぷらや錦糸卵が作られていきます。かぼちゃの煮つけやマグロの照り焼き、サラダの調理などもほぼ同時に進行していきます。正午前にお宅にお弁当を届ける約束とのことで、時間との戦いだとか。

「ふきのとう」は平成2年に発足、東部地区を中心に70歳以上のひとり暮らしの方を対象に月1回(第1金曜日)お弁当を届けるボランティアです。今日は64食くらいとのこと。

お弁当には献立、季節のイラスト、利用者への健康の注意などが記されたお便りもついていて「こころづかい」を感じさせます。誕生月の方にはお花とメッセージも添えられます。

利用者の笑顔に応えようとお弁当作りに奮闘する姿にとっても心が暖かくなれた一日でした。



高齢者と家族の相談窓口

まちかど ホッと



ステーション

佐倉地域包括支援センター



佐倉地域包括支援センターは、高齢者と家族の皆様相談窓口です。住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、医療や介護、福祉に関する相談、健康増進のための支援など専門職が連携協力しながら行う窓口です。地域の皆様に、より身近にご利用いただくため、昨年度より「包括だより」を作成し、地域の医療機関や商店などに配布しています。また、出張窓口の開設も実施の予定です。

佐倉包括支援センターは、安心(ホッと)とつながりあえる場所(まちかど・ホッと・ステーション)として地域に根ざした相談窓口の役割をはたしていきたいと考えています。「困ったことがあったら、ちょっと声をかけてみよう。」と、気軽にご利用ください。

電話：043-488-5151



開所日：日曜日～金曜日

午前8:30～午後6:00

(土曜日・祝日及び12/29～1/3は休み)

地区民生委員から

高齢者台帳ってご存じですか？

佐倉市では65歳以上のひとり暮らし、認知症、寝たきりの方等を対象に、災害時の確認や、緊急時の対応・連絡などのために「高齢者台帳」の作成を行っております。また福祉タクシーなどの在宅福祉サービスのご利用もとても簡便となります。台帳は市・包括支援センターで共有されます。

登録は強制ではありませんので、登録を希望される方は担当地区の民生委員までご連絡ください。

福祉協力者、ボランティアを募集しています

地域福祉活動に興味のある方は事務局までご連絡ください。

043(484)6033

月・木 10時～15時 河野